

自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに JAおおいたは総合事業を展開します

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

ここでは、総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けたJAの主な取り組みを紹介します。

総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた主な取り組みは次の通りです。

1. 多様な担い手の育成・支援による地域農業の振興に向けた取り組み

営農経済渉外員（TAC）の訪問活動強化および他部門との連携強化により担い手のニーズを把握し、農業金融情報や必要とする農業資金を提供します。

2. トータル生産コストの低減に向けた取り組み

仕入れ機能の体制強化に取り組むとともに、肥料銘柄集約（水稻一発肥料、園芸肥料等）を行い、共同購入による予約購買の価格メリットを発揮します。

3. 付加価値の増大と新たな需要開拓に向けた取り組み

米の買取により買入れ業者との価格差の是正に努めます。また、新規需要米・業務用米の拡大に取り組むとともに、海外輸出による新たな販路の開拓に取り組みます。

営農指導事業の主な取り組みは次の通りで、計画している支出額は205,179千円となっています。

1. 安全・安心な農作物づくりへの取り組み

栽培暦に基づく適期防除や栽培管理を徹底し農薬使用量の削減に取り組むとともに、GAP（農業生産工程管理手法）認証取得に向けた支援を行ないます。

2. 農業経営対策への取り組み

就農学校の整備と新規就農者の確保をすすめ、後継者や新規就農者が中核的担い手、担い手経営体となるよう取り組みます。